

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業				担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名	成果指標達成率		方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
1-1-1	安心して子育てできる切れ目のない支援	重点	2	母子相談事業	72.4%	こども相談課	①妥当である	ママパパ学級受講者が土日が多いのは当然のことなので、土日に特化した事業の体制を検討してみてもどうか。		目標が未達であったが、内容を見直しを行うとのことですので問題ないと考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										ママパパ学級は、その次の世代の教育に向けてのスタートとなる非常に重要なポイントと捉える。子どものモラル育成はまず親からであり、親世代への教育・啓蒙の機会を設けられれば、その突破口となり得ると考えている。そのような講演会を単独で設けてでも聴いてほしい。（モラルが十分とは言えない人は参加してこない。）このような別の理由で参加したい会においてそのような取り組みを行うことが、機会創出につながると考える。 この事業に参加する親子世代のモラルレベルが上がれば街のモラルレベルも上がっていき、ひいては誰にも住みやすい街に進化していくことができる。その底上げを狙うためにも、ママパパ学級の参加率向上と、その内容の充実については更なる強化を図っていただきたい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										R5からR6にかけて何があったのか。受講率が3 0 %下がった理由として考えられていることは何か。また、母子相談事業の指標はババママ学級のみで良いのか。	母子相談事業の指標はママパパ学級のみです。 受講率を定員に対する参加者数で算出し、目標値に対して達成率が30%下がったものです。 ママパパ学級は、講義中心の内容と実技中心の内容を2回1コースで開催しています。R5からR6にかけての変更点は、1回目の開催回数を年12回を10回に減らしましたが、定員を16組/回（年384人）を24組/回（年480人）に拡大しました。2回目は、沐浴実習があり、夫婦で参加しやすい土日を希望される方が多いため、土日の開催を1回増やし、さらに定員16組/回（年384人）を土日のみ24組/回とし年144人分拡大しました。定員枠を増やしたものの、参加者数が想定よりも少なく定員の範囲内でおさまったことにより、妊婦の受講率が下がったものです。ただし、前年度より初産婦の数は横違い（534人→536人）ですが、参加者数は5%増となっています。
		重点	6	こども家庭センター運営事業	103.1%	こども相談課	①妥当である	子育てに関する窓口がワンストップ化されたのか。	妊婦から1 8歳未満の児童及びその保護者に関する相談について、こども家庭センターで集約し、切れ目のない支援に努めています。	初年度事業ですので、本年度の事業実績との分析を行って事業のブラッシュアップを進めていただければよいと考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										こども家庭センターへのニーズについて、今一步踏み込んだ活動がなされていないのではないかと感じました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		重点	11	子育て世帯訪問支援事業	142.9%	こども相談課	①妥当である	どのような方が対象なのか。いつから開始したのか。	看護等が不適切である方、養育が困難である方、若年妊婦や出産前から支援が必要な方など、限られた方が対象となっています。 令和6年度は1月からの開始で3ヶ月しか実施できなかったが、ニーズは右肩上がりに上がっています。令和7年度は、開始1ヶ月で6年度の実績と同等の人数の相談を受けており、ニーズはあるものと考えています。	初年度事業ですので、本年度の事業実績との分析を行って事業のブラッシュアップを進めていただければよいと考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										定量評価を行える仕組みを予め導入できていなかったことはあまりよくなかったと思われる。予定されている通り数値化を進めていただきたい。	実施計画の中間見直しに向けて、検討を行います。
										むしろ、想定以上の成果があるにも関わらず、2の母子相談事業が下がったことの理由を考えるべきである。おそらく訪問支援中に相談は出ているはず。2の事業と項目が合っていないのではないか。	本事業の利用希望時に相談を受けていますが2の母子相談事業に計上してはおりません。
1-1-2	幼児教育・保育の充実	重点	新規	乳児等通園支援事業	令和8年度から事業実施	保育課	—			乳児等通園支援事業を見ると、内容の汎用性がある記載がなされています。ニーズを見直し適正なサービスの提供ができればと考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										もう少し事業内容を説明してもらわないと評価できない。	こども乳児等通園支援事業は、保護者の就労要件を問わず、こどもの成長の観点から、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な生育環境を整備するということを目的として創設され、令和8年度より全国一律で実施される事業です。家庭とは異なる環境や年齢の近いこどもとの関わりは、成長発達に資する豊かな経験をもたらすとされており、また、保護者にとっても、専門的な知識や技術を持つ人と関わることで、子育てに対する孤立感、不安感が軽減されるときともに、育児に関する負担を軽減することができるものです。 事業の内容については、生後6か月から満3歳未満の保育所などに通っていないこどもを対象とし、月一定時間までの利用可能枠の中（補助上限時間は10時間）で、時間単位等で柔軟に利用できる制度です。事業を実施する場所は、保育所、認定こども園、地域型保育、幼稚園、地域子育て支援拠点事業所、認可外保育施設などでの実施が可能です。なお、本市では、多様な主体の参画を認める観点から、対象施設は限定しておらず、条例の基準を満たし、適切に事業を実施できる施設であれば実施可能となります。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業				担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名	成果指標達成率		方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
1-2-1	「生きる力」を育む学校づくりの推進	重点	24	英語指導助手招致事業	171.0%（小学） 154.4%（中学）	指導課	①妥当である	各学校で公平に事業が行われているのか。	令和6年度も令和7年度も事業提携関係業者より15名のALTを派遣して、市内のすべての小・中・義務教育学校へ公平に勤務する形が整えられています。あわせて、月に1回、その全ALTと関係職業者職員、指導課担当職員も含めて研修を行ったり、学校への訪問もし適切に授業を行っているかの見届けや研修を行っています。	数値的には素晴らしいと考えます。内容の調査も入れてはどうかと考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										英語指導は学力向上というよりもまず英語アレルギーの除去という側面が重要に思える。ALTの活用というHowtoのみならず、そのALTに何を担ってもらうかのリードも組織的に行えると、効果が倍増できそうに思える。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										取り組み自体は素晴らしいと思うが、春日部市のビジョンのどの部分に関連する事業なのかわからない。英語に特別力を入れる方針がどこかに掲げられているならぜひ知りたい。	市では、「生きる力」を育む学校づくりの推進を掲げており、その中で特色ある学校づくりの推進を行っています。
										ALTを活用しているのは良いのですが、授業数を評価にしようとして、効果のほどがわかりません。英検や独自の試験などにより、効果が目に見える指標を望みます。	実施計画の中間見直しに向けて、検討を行います。
										私が海外へ行った際に、ホテルの行き方や乗車券の買い方が分からず、片言の英語で話して何とかなりましたが、英語指導助手招致事業を充実し、子どもの頃から自然と楽しく英語を学ぶことは、本当に大事なことだと思います。そうすることにより、いつか役立つことがあるのではないかと確信しています。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										目標値がこれほど低いのはなぜか。例えば小学生は前年も60%近い実績であったのに、20%近く低い目標値を設置することにより、市のやる気や本気度を感じられない。	実施計画の中間見直しに向けて、検討を行います。
1-2-2	一人ひとりを大切に した教育の推進	重点	27	こころのサポート推進事業	49.7%（小学） 75.4%（中学）	指導課	②検討を要する	いじめや不登校はなぜ減らないのか。	・不登校が減らない理由 不登校の理由は児童生徒によって様々であり、一概に申し上げることはできませんが、学校現場での経験と感覚をもとに大きく2点申し上げます。 1点目は、価値観の多様化です。児童生徒によっては、不登校の時期がその子にとつての休養や、自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある、といった考え方もだいぶ浸透してきました。何が何でも学校に登校させようとする保護者は、少なくなっていると認識しています。また、フリースクールやインターナショナルスクールなど、学校以外で学ぶ場も増えています。このような多様化した価値観の児童生徒に、現状の学校現場が十分に対応することができていない、という側面もあると捉えております。 2点目は、コロナ禍の影響です。コロナ禍では、コロナ罹患者や濃厚接触者等は、登校することができませんでした。これにより、児童生徒が学校を休むことについてのハードルの高さは確実に下がったと捉えております。現在では多少でも体調が優れなければ、まずはゆっくり休んで、体調を回復させるという考え方が大勢を占めるかと捉えています。	教育委員会との連携も大事だと考えます。取り組み検討材料に入れていただければと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									・いじめが減らない理由 「いじめ」は根絶されてしかるべきものですが、なかなかなくならないというのが実情です。学校現場での経験と感覚をもとに大きく2点申し上げます。 1点目は、いじめを積極的に認知する意識の定着です。学校現場では、「いじめゼロ」ではなく、「いじめ見逃しゼロ」を目指すという意識が定着しています。したがって、「いじめ」というより「からかい」や「悪ふざけ」といった方が当てはまるような状況でも、「いじめ」として認知して対応し、「いじめ見逃しゼロ」を目指しています。 2点目は、価値観の多様化です。同質集団の中では、自分と異なる者、異質なものを排除しようとする心理が働いてしまうことも少なくありません。多様な価値観を認められる児童生徒が育つように、道徳教育を要として、学校教育全体を通して、指導支援を行っています。	不登校になった子への対応と、不登校にならないようにする対応は似て非なるものと捉える。ここでのKPIはもしきたら、新たに不登校になった子の比率のほうが目的に即しているかもしれない。	実施計画の中間見直しに向けて、検討を行います。
									施策の目的に対して成果指標が合っていない。不登校については捉え方が変わりつつあるので、別の成果指標に変更する必要がある。目的に掲げた以上、一人ひとりに寄り添う指標の一つは含めたい。	実施計画の中間見直しに向けて、検討を行います。	実施計画の中間見直しに向けて、検討を行います。
		重点	28	いじめ防止対策推進事業	66.4%（小学） 81.0%（中学）	指導課	②検討を要する	連絡協議会、調査委員会は今まで年回開催されたのか。	連絡協議会、調査委員会共に、令和5年度は1回、令和6年度は2回行われました。令和7年度も同様に行う予定です。	SNS等は把握が難しいため、他の自治体との共有も取り組みの検討材料に入れていただければと思います。	他の自治体の取組を研究してまいります。
									どの学校でも、大小多くのいじめが存在すると思っています。「いじめゼロ」ではなく「いじめ見逃しゼロ」を目指す意識醸成はとても良い取組みだと感じています。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									年齢の特性上、「いじり」や「からかい」までも根絶する（＝1を0にする）というのは不可能に思える。重要なのはそこから「いじめ」に発展させないこと（＝2以上にはしない）であり、嫌なことは嫌と言う、嫌と言われたことはそれ以上やらない、といった基本的な教養の強化に立ち返ることも必要に思われる。	年齢の特性上、「いじり」や「からかい」までも根絶する（＝1を0にする）というのは不可能に思える。重要なのはそこから「いじめ」に発展させないこと（＝2以上にはしない）であり、嫌なことは嫌と言う、嫌と言われたことはそれ以上やらない、といった基本的な教養の強化に立ち返ることも必要に思われる。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									年に1-2回の協議会・委員会で何が变わるのかイメージできない。難易度が高いからこそ、成果指標は明確にして動くべきだと感じる。活動の実態が外から特に見えてこない。	年に1-2回の協議会・委員会で何が变わるのかイメージできない。難易度が高いからこそ、成果指標は明確にして動くべきだと感じる。活動の実態が外から特に見えてこない。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									いじめの解消とは何をもって決定しているのか。また、小学校の解消率が10%以上低くなっている。（前年比）理由としては何が考えられるのか。	いじめ認知後3ヶ月は経過観察し、その後解消となります。令和6年度末いじめの認知件数が全体の25%ほどあり、経過観察のため解消には至りませんでした。今後もいじめの解消率100%を目指してまいります。	いじめ認知後3ヶ月は経過観察し、その後解消となります。令和6年度末いじめの認知件数が全体の25%ほどあり、経過観察のため解消には至りませんでした。今後もいじめの解消率100%を目指してまいります。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業			担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価		
		項目	No	事業名		成果指標達成率	方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
1-3-1	青少年の心豊かで健全な育みの推進	重点	40	子育て世帯訪問支援事業【再掲】	142.9%	こども相談課	①妥当である	どのような方が対象なのか。いつから開始したのか。	看護等が不適切である方、養育が困難である方、若年妊婦や出産前から支援が必要な方など、限られた方が対象となっています。 令和6年度は1月からの開始で3ヶ月しか実施できなかったが、ニーズは右肩上がりになっていきます。 令和7年度は、開始1ヶ月で6年度の実績と同等の人数の相談を受けており、ニーズはあるものと考えています。	—	—
		重点	41	児童育成支援拠点事業	0.3%	こども育成課	②検討を要する	事業はどこで何をしているのか。 学習支援も含めるなど、指標の内容を含めて、見直しを行ってほしい。 ラインでの相談についてはニーズがないのではないのか。 親も相談できるのか。 相談に対して答える人は、どのような周知を行ったのか。 目標値300件に対し実績1件というのは、目標値の見直し、もしくはカウントの方法の見直しが必要と思われる。	春日部第2児童センター「グーかすかべ」で、指定管理者の業務の一環として令和6年度より実施しています。内容は、ラインによる相談及び学習支援を行っている学習支援は多いものの、ラインによる相談が少なかったものです。 こどもにアンケートを採り、ニーズが高いため実施した事業であり、周知不足も進捗が低い要因の1つと考えています。 親御さんも相談できますが、指標はこどものみです。（親も含めると9件） 相談は、社会福祉士の資格を持つ指定管理者の職員が対応しています。 ライン、X、高校へ周知を行いました。	児童からの相談というのはかなりハードルが高く発掘しにくいと考えます。少ないからいいという内容ではないと思いますので、情報を取りに行く仕組みが必要に感じます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									子どもは、まず何かきっかけがないと、はじめましての大人に相談は難しい。学校をはじめ、郷土かるたやサイエンスショー、各種祭りなど、子どもが参加する行事で関わった大人が窓口となれる仕組みがあると、相談を必要としている子どもたちへの手助けとできそう。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
									施策の目的に対して成果指標が合っていない。そもそも相談件数が多ければ良いわけではない。実施するに至ったこどもへのアンケートから確認させてもらいたい。周知のためにやっていることも知りたい。	成果指標につきましては、中間見直しの際に再検討してまいります。 周知活動につきましては、市公式HPへの掲載やSNSの活用、市内各校へのチラシの配布、青少年健全育成団体の協力を得ての周知用ポケットティッシュの配布や団体機関紙への掲載等を行っております。	
									具体的な話が見えない。啓発品の配布だけでは、こどもが相談してくるとは思えない。	令和6年度は事業開始初年度ということで、まだ周知が行き届いていない面があり、SNS相談の件数が伸びませんでしたが、令和7年度の9月末時点では延べ12件の相談実績がありました。 今後も引き続き周知活動を行い、本事業の浸透、定着を図ってまいります。	
1-3-2	子どもの居場所づくりの充実	重点	45	児童育成支援拠点事業【再掲】	0.3%	こども育成課	②検討を要する	事業はどこで何をしているのか。 学習支援も含めるなど、指標の内容を含めて、見直しを行ってほしい。 ラインでの相談についてはニーズがないのではないのか。 親も相談できるのか。 相談に対して答える人は、どのような周知を行ったのか。 目標値300件に対し実績1件というのは、目標値の見直し、もしくはカウントの方法の見直しが必要と思われる。	春日部第2児童センター「グーかすかべ」で、指定管理者の業務の一環として令和6年度より実施しています。内容は、ラインによる相談及び学習支援を行っている学習支援は多いものの、ラインによる相談が少なかったものです。 こどもにアンケートを採り、ニーズが高いため実施した事業であり、周知不足も進捗が低い要因の1つと考えています。 親御さんも相談できますが、指標はこどものみです。（親も含めると9件） 相談は、社会福祉士の資格を持つ指定管理者の職員が対応しています。 ライン、X、高校へ周知を行いました。	子どもと親の満足度を調査し、成果指標を設定すべきではないか。夏休みの放課後児童クラブについて、冷房を使える部屋の数が限定されていて窮屈であったり、スタッフの配置不足による人権を軽視した保育などが実施されている報告があり、改善が求められる。	成果指標につきましては、中間見直しの際に再検討してまいります。 放課後児童クラブについていただきましたご意見は担当課に伝えて今後に生かしてまいります。
									旧宝珠花小学校の跡地を生かせないか。	本事業で実施している取組のうち「学習支援」については、中高生を対象としております。第2児童センターは利用者のメインターゲットを中高生としており、また、駅からも近く利用者が自分で来館しやすいといった環境にあることから、実施会場と定めたものです。 旧宝珠花小学校跡地は、このような条件を満たしていないことから、実施は難しいものと考えております。	
2-1-3	介護予防の推進と介護サービスの充実	重点	60	フレイルチェック事業	112.5%	介護保険課	①妥当である	事業の立ち上げとらなかった4圏域には何か課題となるものがあつたのか。	フレイルチェック事業は、フレイルチェック測定会を地域住民が主体となって実施していく事業であることから、当事業に係る地域の理解とフレイルサポーターとして継続的に活動してくださる。地域の担い手を確保していくために、各圏域で地域包括支援センターが中心となり、令和6年度から地域の自治会やサロン実施団体等へ普及・啓発活動を行ってきました。 4圏域については、地域との調整に時間を要したことから、令和6年度中の立ち上げには至りませんでしたが、地域の協力が得られ、7年度にはサポーターを養成する計画となっています。	認知度を広める情報発信も同時に検討いただければと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
2-2-1	障がい者（児）の生活支援の充実	重点	67	障害児通所給付事業	202.5%	障がい者支援課	②検討を要する	基幹相談支援センターの設置がされた後の支給量はどのように想定をしているのか。 進捗率が200%を超えていますが、中間見直しにおいて、指標の見直しの検討はされるのか。 人口が減少している中で、障がい者の数は増加傾向にある理由は、 目標値に対し倍以上のサービス給付となっている。基幹相談支援センターを設置したことでどう変わるのか検討を要する。	基幹相談支援センターは、10月から動き出し、ケアプランを作る事業者へ指導・助言を行っています。また、ケアプランを事業所で作成する方法と、セルフプランで作成する方法のどちらが適切か、振り分けが重要となるため、その手順書を課内で作成し、動き始めています。この2つが機能すれば、過剰な福祉サービス要求の抑制につながるものと考えます。 進捗率が200%を超えており、見直しは必要であると認識しています。 障がい者の数は増加傾向にある理由として、国の報告では、障がいに対する認識の変化や法制度の変化によるものがあげられています。知的障害や発達障害に関しては、早い段階から療育訓練を受けるべきといった社会的なニーズの高まりがあると言われていきます。精神障害に関しては、特に企業側が障がい者雇用を積極的に行うよう制度上の強化があり、企業が促していることによるものがあります。身体障害はほぼ横ばいとなっています。 また、女性の社会参加の増加により、自己負担額の低い福祉サービスを利用するため、手帳の取得増加の要因の1つとなっています。	R6に大幅に利用人数が増えているのはなぜか。理由を分析してほしい。R5とR6との比較もしてほしい。	令和4年度の月平均利用者は725人、令和5年度月平均利用者900人、令和6年度の月平均利用者1,523人と年々増加傾向にあります。障害者手帳所持者が増えていることもありますが、障害者手帳を所持しない、発達障害児の利用相談が急増しており、それは、障害のある児童の育成として、できるだけ早期に適切な支援を行うよう、「早期療育」が普及し幼児期支援の介入が増えたことが理由と考えます。
2-2-2	障がい者（児）の社会参加の促進	重点	74	介護給付費・訓練等給付費給付事業	122.8%	障がい者支援課	②検討を要する	事業の指標は100%を超えているが、施策の指標は上がっていないのはなぜか。 基幹相談支援センターを設置したことでサービス給付がどう変わるのか検討を要する。 利用数を増やすことを目標にしているのか、抑制の方向にしたいのか確認。	介護給付の中には職業訓練があり、そこで就労につながる場合もあります。 国の動きとして、本年10月に制度改正を予定しており、就労選択にあたり、専門的なアセスメントを入れてどの就労が適しているか適宜見直しを行う予定です。	障がい者数の増加の理由は、転居で増えているのか、事故などで増えたのか。転居の場合は、なぜ春日部市に移ってくるのかについて分析してほしい。	令和4年度の月平均利用者数は2,698人、令和5年度の月平均利用者数は3,001人、令和6年度の月平均利用者数は3,368人と年々増加傾向にあります。利用できる対象者は障害者手帳所持者だけではなく、手帳を所持しない精神障害者や発達障害者、難病患者も含まれています。現代の情報過多や人間関係の複雑化等によりストレスを受けやすくなったことで、うつ病などを発症したことで、サービスを利用する人も増えています。それに伴い、新規参入事業者が増えたことで、障害福祉サービスを利用しやすい環境になったことが理由と考えます。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業				担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名	成果指標達成率		方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
2-3-2	生活保護と自立の支援	重点	81	生活困窮者自立支援事業	70.3%	生活支援課	②検討を要する	事業の対象は、対象者に制度利用を促しているのか。事業の回数は。	生活困窮者（非課税世帯）や生活保護世帯が対象です。アプローチは積極的にはしておらず、主に学校からつなげていただくケースが多いです。 週2回程度、中学生と高校生に分かれて教えています。	目的が、学ぶ意欲の励起なのか、既に意欲ある子への学習支援なのか、焦点がぼやけかねないように見受けられる。その両者に必要なアクションは全く異なるため、両方なのか、順番なのかの見極めが大切に思える。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										不登校の生徒に関しては集団で実施することに不安がある可能性が考えられる。支援ボランティアを募集するなどして、個別の支援を行うことはできないのか。また、逆に学校に通えている生徒は友達と一緒にの方が参加しやすい可能性が考えられるため、個別支援でないものについては困窮生徒支援を本旨としつつ参加者は限定しない方がよいのではないかな。	生活困窮者自立支援における学習支援事業は、「貧困の連鎖を断ち切り、子どもの自立を支援する」ことを目的とし、主に経済的事情により学習機会が不足しがちな子どもに対して支援を行うものです。不登校生徒の学校復帰に向けた支援は、教育相談センターにおいて専門的な指導援助が行われております。それぞれが異なる目的と役割を担っていることから、本事業では生活困窮世帯の子どもを中心に、学習意欲や状況に応じた支援を柔軟に展開してまいります。
										内容が対象世帯の子ども達の学習支援のみなのだとしたら、事業名が違うような気がしてしまいました。そうでないならば、評価指標がそこである意味が少し不明でした。	本事業は、生活困窮者自立支援の目的である「貧困の連鎖を断ち切る」ため、学習支援に加え、生活習慣の習得や居場所づくりを一体的に行っています。評価指標に参加生徒数を用いるのは、支援が必要な子どもたちに届いているかどうか、到達状況を把握するためです。
2-4-1	健康づくりと病気予防の充実	重点	83	健康マイレージ事業	33.5%	健康課	②検討を要する	イベントをやりながら登録を促す方法がよいのではないかな。		介護施設などとの連携などもすることで、更なる利用拡大になるのではないかと考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										取り組みとしては非常に興味深いと感じたが、認知度が十分ではないようにも感じた。広報かすかべやSNSなどで、高齢者以外も巻き込んで良い前提で取り組んでみたらどうか。	いただきましたご意見のように広報かすかべやSNSのほかイベント、教室等で事業のPRを実施してまいります。
										心身共に健康であることは、人間が生きていくうえで最も大切なことです。そのため、健康マイレージ事業の一層の普及を図り、健康づくりと病気予防に努めるよう希望します。私自身このような事業があることは知りませんでした。今後このような事業に参加していきたいと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
2-4-2	適正な健康保険事業の推進	再検討	87	保健事業事務	465.8%	国民健康保険課	②検討を要する	達成率の計算式が間違っている?? 「21.5%」ではないか？ 成果指標の見直しを。	差額通知は、ジェネリックではない医薬品を使っている方に対して、ジェネリック医薬品を使うと500円以上安くなる場合に発送していますが、発送通知の数が少なくなるほど、進捗していることとなるため、この進捗率となります。	—	—
2-4-4	市立医療センターの基幹機能の充実	重点	91	春日部市病院事業	117.1%	経営財務課	①妥当である	救急搬送患者の受入件数、病床の稼働率ともさらなる上昇を。		今一步、市民目線に立った病院運営を期待しております。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
3-2-1	人権を尊重するまちづくりの推進	重点	98	人権事務（人権啓発等）	107.1%	人権共生課	①妥当である	時代のニーズに合わせた人権啓発事業を検討してみてもどうか。		記載内容が、スローガンとしてはよさそうだがアクションプランとしては漠然とし過ぎているように思える。活動の実施数ではその適正さが測れず、実効性の多寡が何をもって測れるかの協議が必要に思える。人権問題が実際に発生しているのか、その問題は収束の見通しがあるのか、に着目することが重要ではないか。また、テーマ特性上、問題そのものを明記・列挙しにくいところはあるかと理解できるので、問題の件数や相談の件数などをKPI化して進捗を追えるようにしたほうがよいように思える。	人権問題は一人ひとりの問題であり、社会情勢によっても変化し流動的であるため、全体数の把握ができません。したがって、目標値の設定も困難であるため、事業成果指標の一つを「人権啓発活動の実施数」としております。
										具体的な人権啓発について知りたい。	法務局より委嘱される人権擁護委員とともに、藤まつり・大仏揚げ祭り、また12月4日から10日までの人権週間に合わせ春日部駅前・イオン春日部における啓発品の配布を行っております。また、市広報紙への「人権それは愛」の掲載、市内事業者あて就業や居宅設定の際の平等性確保についての啓発などになります。 「人権尊重」は、あらゆる部署のあらゆる施策の根源であり、目標であるため、例年11月に開催する「市民アカデミー」、男女共同参画推進センターハーモニー春日部で開催する各種講座のほか、各部署が実施するあらゆる啓発活動の全てが人権啓発であると考えており、その内容は「人権施策推進指針（第2次改定）前期実施計画」に記載しております。
										そもそも春日部市の考える「人権」とは。	令和7年3月に、今後10年間を見通した人権施策推進指針（第2次改定）を「一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちを目指して」を基本理念に、策定しました。「人権」とは、一人ひとりが自分らしく生活できることであると考えます。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業				担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名	成果指標達成率		方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
3-4-1	文化・芸術の創造と振興	重点	110	市民文化会館運営事業	135.3%	教育総務課	①妥当である			ハードとしての整備は十分な成果が得られていることがわかりました。ソフト的に、平常時にエントランスホールを自習室、休憩室として過ごしやすく整備するといった可能性はあるでしょうか。	現状、ベンチを設置しており、市民の休憩場所として開放しております。
										市民の文化活動の中心に位置すると捉えているため、市民が誇れる会館であってほしいし、積極的に通いたくなる会館であってほしい。そのためには快適な設備に更新し続ける取り組みは引き続きおこなってほしい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										改修、更新件数が年々増える設定で、それが評価指標になっている意味がわかりませんでした。	施設が老朽化していく中で、不良個所を改修更新していくことで利用しやすい環境を整えております。
										文化会館の名前に個人企業名があるが、それについて市民には周知されていたか。	ネーミングライツとは、命名権を取得した民間事業者等が市の公共施設に企業名・商品名等を冠した愛称を付けることができ、市は、その対価として命名権料を得て施設の維持管理や運営に役立てるものです。ネーミングライツについては、市広報紙や市ホームページにおいて周知しています。
										文化芸術の創造と振興を図ることは、知的生活の向上を促し、生活を豊かにしてくれます。私も開催している各種イベント等に参加しますが、心が癒やされます。今後ともこのようなイベント等を開催し、市民文化の向上を図ることは大事なことであると思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										有料の机が壊れていたり等、市民の目にふれる場面で未改修が満足度に反映されるのでは。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
3-4-2	郷土の歴史と文化遺産の保存と活用	重点	112	史跡神明貝塚保存活用事業	133.3%	文化財課	①妥当である	公有地化が済んだ後、整備スケジュールはどうなっているのか。	公有地化の完了は今年度末を見込んでおり、令和8、9年度に、整備基本計画を策定し、整備の内容を検討する予定です。	資料6において課題説明の中で市民活動が活性化し、ニーズが多様化したとあるが、具体的にどんな内容か。	神明貝塚の市民の関心が、貝塚の特徴だけではなく、史跡としての価値や、現状、課題、将来の展望等に多様化しました。
		重点	114	郷土資料館運営事業	112.6%	文化財課	①妥当である	新たな展開は何かあるのか。	博物館法の博物館登録申請を行い、機能の充実に努めるとともに、収蔵品管理システムと連動した展示解説システム「ポケット学芸員」の公開などを通じ、来館者および利用者の拡充を図ります。	情報発信、ICTの活用などの取組みが十分されていることが分かりました。館内にある体験型展示がさらに増えると総合的な魅力が向上すると思いました。ともすれば、市民から遠い存在になり得る事業ですが、SNSも活用して、マメに、そして内容は重厚に発信をして、市民に届けていることは大変評価します。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										市内各地の歴史遺産を調査、保存し、またこれらの歴史遺産を公開して、市民の理解、関心を深めることは必要なことであると思います。特に小学生等年少の頃より歴史にふれ、歴史学習をおこなうことにより、郷土愛を育むことは大切であると思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
3-5-1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	重点	115	体育総務事務	100.0%	スポーツ推進課	①妥当である			地区体育祭等事業に委託金の増額やイベントへの支援を期待する。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										ボランティア参加の増加など継続的な運営の取組みがなされていることがわかりました。ランナーからのフィードバックなど双方向的な関係を築く取組みはとても良いと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		重点	116	大鳳マラソン大会実施事業	101.3%	スポーツ推進課	①妥当である			県外の友人もこれに参加するためにわざわざ来訪してくれるほど、認知されている様子を肌で感じている。名物の1つとして今後も発展させていってほしい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										指標が参加人数でなく、スタッフの人数なのは何故でしょうか。	市民のボランティア意識の高揚と郷土愛の醸成のため運営に関わる競技役員を市民から募集していることから、指標をスタッフの人数としています。
										参加者用駐車場が足りていない。道の駅庄和等近隣施設への迷惑駐車が多い。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
4-1-1	環境にやさしい持続可能な取組の推進	重点	118	再生可能エネルギー推進事業	106.7%	環境政策課	①妥当である	市内のCO2削減量など事業効果をもっとPRしてみてはどうか。		まずは公共施設に再生エネルギーを強力にすすめてほしい。.	令和6年度より、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)」という国の交付金を活用し、令和6～10年度で20施設程度の公共施設に太陽光発電設備・蓄電池設備を設置し、再エネ活用に加え、防災力の強化を図っているところです。 また、公共施設で使用する電力調達において、再エネ由来の電力調達率を高めていく方針としており、令和10年度までに電力調達率の約7割以上を再エネ由来とする目標としています。 なお、市役所本庁舎は再エネ100電気を使用し、ガスについてもカーボンオフセットガスを使用しているため、エネルギー由来のCO2排出量ゼロを達成しています。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業				担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名	成果指標達成率		方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
4-2-1	地域の強靱化と防災力の向上	重点	129	防災体制強化事業	89.2%	危機管理防災課	②検討を要する	目標が最初から全組織を目標にしているが、現状から9年度まで段階的に目標を設定したほうがよいのではないか。見直し時には下げる必要はないので、次期策定時には成果指標の設定の仕方を検討すること。		学校運営協議会（立野・大增）主催で避難所開設訓練を今年度実施したところ、地域の防災士、地域の住民はもちろん、市の担当の方からも良い取り組みとお褒めの言葉をいただいた。非常に効果的だったと感じており、是非市内全域に拡大してほしい取り組みのため、紹介します。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										救急救命講習の参加者が多いようですが、意識が高い人が多いと思うので、そこで防災の知識講習のプラスや防災士への誘導などはいかがでしょう。	防災講習会を併設することにつきましては、救急救命講習を実施する担当課と対応について検討してまいります。 また、防災士への誘導に関しては、講習会とあわせて防災士制度の紹介について検討してまいります。
										道の駅庄和を防災道の駅認定に向け、準備をしてほしい。	いただきましたご意見は担当課に伝えて今後に生かしてまいります。
										そもそも基本となる組織とは。自治会が作れない単位の集落には情報すらまわってこない。	基本となる自主防災組織とは、災害対策基本法において「住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織」のことで、町内会等で活動する組織となっております。 近年では自治会への加入率低下や、自治会を作ることが難しい町会などを考慮し、市広報誌や公式ホームページ、SNS、安心安全メールなど様々な媒体を活用し、地域防災力強化のため情報を発信しております。 市では、こうした情報発信と合わせて、市民一人一人が自ら情報を収集することの大切さについて啓発を行っているところです。 いただいたご意見を参考に、今後もこうした啓発に努めてまいります。
4-2-2	消防・救急・救助体制の充実・強化	重点	133	消防施設耐震対策事業	100.0%	消防本部総務課	②検討を要する	浜川戸、幸松の跡地の検討		各地で災害が発生しているなか、早急な対策が必要です。	消防施設の耐震対策については、旧耐震基準の建物である浜川戸分署を幸松分署と統合したうえで、西部第三土地地区画整理記念館の跡地に防災拠点としての機能が発揮できるよう、移転建替えを現在進めております。
5-1-1	観光資源の魅力向上と来訪者の滞在環境の充実	再検討	143	観光振興事業	62.5%	観光振興課	②検討を要する	情報発信が少なかった理由は何か。観光協会との連携し、情報発信の仕方を工夫する必要がある。儲かる観光も検討してみてください。	大風あげ祭りなど別に事業があるものについては目標値の対象外としており、観光振興事業（外郭放水路など）の一般的な観光PRに向けた情報発信のみとしているため。	市役所や「ぶらっとかすかべ」に来館する外国人が、もっと春日部に長く滞在し、地元で消費してもらうための施策や事業、コンテンツ等が必要だと思っています。	ぶらっとかすかべに来館されるインバウンド観光客のほぼ全てが、クレヨンしんちゃんスタンプ巡りで市内観光施設を巡っている状況です。このスタンプ巡りにより、滞在時間が伸びたことで、飲食店からは「外国人観光客の来店が増えている」旨の声も届いています。今後も、より多くの市内消費に繋がる仕組みを検討していきます。
										SNS発信を上手に行えることは、広報活動としてMustに近い世の中であると感じている。積極的に如何に活用するかを検討・協議したうえで先進的な（後れを取らない）市でありたいと思う。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										市内には市民が中心となって行っている大小さまざまなイベントがある。観光振興に関して、市だけが全部やる必要はなく、市内のイベント情報を集めてそれを発信するだけでも、市民からの評価が上がる可能性がある。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										発信をするのは大前提で評価軸にはなりません。しかも目標が16回というのは月に何回するか考えた時に適当でしょうか。クレヨンしんちゃんスタンプ巡りをする外国人観光客が増えても、歩いているだけでは意味がありません。ぶらっとかすかべ物販や近隣飲食店などの具体的な売上などの効果を示すことが次の施策につながると考えます。	SNSを通じた情報入手が当たり前となっている昨今、情報発信の「数」を指標とすることは、事業の成果指標としては適当ではなくなってきている、と認識しております。つきましては、以下のとおり指標の見直しを検討致します。 ・情報発信においては、発信した回数で成果を測るのではなく、どの程度の相手に届いたか（Xのエンゲージメント数）で測る ・市内平均滞在時間数の変化（モバイル空間統計の活用※有料データ）で測る ・市内観光消費額の変化（各観光施設における聞き取りアンケートによる）で測る 上記は例示となりますが、成果を示すものとして最も適切で、かつ行政として毎年安定して測定できる指標であることを念頭に置き、検討させていただきたいと考えています。
										ハルカイトの案内・宣伝が足りていない。近くに行ってもどこか分からない。案内板（標識等）が必要。	令和7年度に、施設に最も近い幹線道路の道沿いに案内標識と、同幹線道路のハルカイト入口になる「西宝珠花」交差点に、電灯柱共架タイプの看板を設置しました。 また、施設へ入場する最後の曲がり角にもフェンスに設置するタイプの看板を設置し、アクセスの利便性向上に努めているところです。 さらに、毎年「春日部大風あげ祭り」において配布しているパンフレットにも、ハルカイトへのアクセスと施設紹介を掲載し配布することで、イベント来場者をハルカイトへ誘客する取組を行っています。
										情報化社会において、10回台の発信数であること自体について考えたほうがよい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										アカウントの発信目的やターゲットをを明確化させた方が効果的である。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										市役所からの発信だけでなく、市民や事業者を巻き込んだプロモーションが効果的である。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										新たなイベントを打ち出すだけでなく、既存のイベントのブラッシュアップも必要である。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										インフラやデジタル、既存の観光資源なども有効活用していくべきである。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		重点	144	大風あげ祭り実施事業	57.6%	観光振興課	①妥当である	年々予算が上がっているので事業効果をもっとPRした方がよい。		近隣エリアの回遊に繋がっているのが気になる。周囲を巻き込むイベントなら、協力者も放っておかないはずなので、連携体制も見直し事項に含めた方がいいかもかもしれない。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										来場減少の理由は何でしょうか。	コロナ禍が明けて、大型連休の過ごし方、人の流れに変化が生じたものと推察しているところです。
										有料観覧席の利用者が少ない。継続実施を含め再検討が必要と考えます。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業				担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名	成果指標達成率		方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況
5-1-2	身近で活気あふれる商業環境の充実	再検討	149	商工会議所補助金	65.2%	商工振興課	①妥当である	団体に対する補助金なので適正な支出をお願いします。		商工会議所会館設置に向け中長期的な計画を示して欲しい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										ジャズデイかすかべ、舶壁エイサーまつり、かすかべ音楽祭はどれも、身内感が強いイメージがある。市内の人を集める目的なら良いが、単に来場者数を増やす場合、市外からも集める必要があるため、まずは収集する情報として市内と市外を分ける等の修正が必要だと感じる。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										まだコロナの影響という言葉が出るのは、他に理由が考えられないのでしょうか。	コロナ禍においてイベントのあり方を見直す中で、開催日数や会場数の縮小などがあった点について、影響があったものと捉えています。また、他の要因としては、世代間のニーズのズレによるイベントの魅力不足や広報の工夫不足、記憶に残る体験などの価値不足などが考えられます。イベント「無料」だけでは集客が難しい時代でもあるため、来場者数の増加に向け「行きたくなる理由づくり」を重要視した企画運営を関連団体と連携・協議しながら、取り組んでまいります。
		再検討	151	旧商工振興センター跡地活用事業	88.8%	商工振興課	①妥当である	R7の目標値については、コープかすかべテラスが開設された後の人流をきちんと把握すること。 R7で事業完了し、進捗管理もR7で最後となる。		駅前通りの通行量など波及効果が表れていると思います。エントランス部分の広場やまちなみ公園と連携したソフト的な取組みを今後期待したいです。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										活用事業の成果指標が通行者数である理由がわからない。	西武百貨店の閉店や旧商工振興センターの閉館以降、学校通りの人通りが少なくなり、にぎわいが消失する状況が続いておりました。本事業は、中心市街地をはじめとした、まちのにぎわいの創出などを事業目的の一つとしており、商業環境を測る指標として歩行者等の通行者数を成果指標として設定したものです。
										R7で事業完了ということだが、不要ならなくしてしまうことも選択肢の一つ。または、人流を把握するなら属性や時間ごとの人数も把握した方が今後に活かすことができる。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		重点	152	かすかベンチャー応援補助金	100.0%	商工振興課	①妥当である	この補助金を使って創業した事業者をもっとPRしてこの補助金の良さをアピールした方がよい。		とても良い取組みだと思います。事業のより一層の周知を図っていただきたいです。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										達成率がきっちり100%なのは、希望する事業者が多いから目標数だけ受け入れた結果なのか、逆に提供する空き店舗が少なくて、提供できる空き店舗が毎回全部埋まるから100%なのか、100%の中身が気になる。	補助要件を満たした申請はすべて受理しています。また、目標値の設定につきましては、予算額400万円に対して、上限額の100万円を4件交付した場合を想定しています。なお、年度によっては上限額に達しない申請などがあり4件を超えて交付する年や目標値を達成していない年もありますが、現時点では100%という状況となっております。空き店舗につきましては、常に出入りがあるため、本事業が目標値を達成したとしても、必ずしも全部埋まるというものではありません。
										目標値と実績が同数なのはなぜか。予定調和な体制を感じる。	評価年度における累計で、目標値と実績値が同数となったことによるものです。年度ごとの実績値ではこれまで変動があるため、今後、目標値と実績が同数とならない場合も考えられます。
5-2-1	企業誘致や創業支援の推進と就労支援の充実	重点	153	新産業創出支援事業	107.4%	商工振興課	②検討を要する	セミナーもビジネスコンテストも事業効果が薄れているような気がします。新たな産業創出事業を検討してみてもどうか。		埼玉県が「渋沢MIX」を開設する等、スタートアップ支援の機運が高まっています。金融機関の更なる支援も期待出来ると思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										施策の目的に照らし合わせるなら、市の特定創業支援事業を受けて起業した事業からどれくらいの雇用が創出されたかも考慮すべきではないか。雇用を創出するような事業である必要があるため、マイクロ起業の件数ばかり増えても意味がない。	起業当初は、創業者お一人または少人数の雇用となるケースが多いと認識しております。事業の成長・拡大に伴い雇用も創出されると考えておりますので、創業後につきましても継続的な支援に取り組んでまいります。
		重点	154	企業誘致推進事業	101.1%	商工振興課	②検討を要する	R7中に事業が完了するのなら、R8、9の指標は見直しするべき。産業指定区域だけでなく、中心市街地の企業誘致も検討してみてもどうか。		旧富多小学校跡地につきましては、跡地を有効活用するため、活用を希望する事業者を募集し、複数の事業者の中から選考した結果、春日部みどりのPARK共同事業体と市有財産賃貸借契約を結び、現在に至っているところで、今後の活用につきましては、契約の更新を含め検討し、決定後は速やかに情報発信してまいります。	旧富多小学校跡地につきましては、跡地を有効活用するため、活用を希望する事業者を募集し、複数の事業者の中から選考した結果、春日部みどりのPARK共同事業体と市有財産賃貸借契約を結び、現在に至っているところで、今後の活用につきましては、契約の更新を含め検討し、決定後は速やかに情報発信してまいります。
										庄和インター周辺の産業指定区域の廃止に伴い、計画や指標の見直しが必要である。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										雇用機会の拡大や税収の増加が見込め、地域経済にプラスとなる、生産的な企業の誘致をして欲しい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										鉄道高架に合わせるなど、都市計画やまちづくりと連携し、春日部駅西口の生活基盤エリア等、中心市街地への企業誘致も進めて欲しい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
5-3-1	活力ある商工業の基盤づくりへの支援	重点	159	特産品協議会補助金	64.3%	商工振興課	②検討を要する	特産品協議会に加盟している組合が2団体しかないが、個人でも協議会に加盟して特産品をPRすることはできないか。		伝統工芸の特産品が活気ある地域と衰退している地域では地域の魅力が変わってくると考えます。資金的支援だけでなく、特産品は市のブランドの一つなので、連携して進めていくことを期待します。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										必要性和効果のほどを知りたいです。	特産品は地域の独自性を形成する重要な要素で、地域の魅力を高め、経済的・文化的な活性化に必要と考えています。効果としては、地域資源の有効活用につながり、観光振興や地域への経済的波及効果も生み出していると捉えています。
										春日部の目玉となる特産品が必要。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										人出不足によるイベント参加の減少が一番大きな問題と思われるが、「なければ」が「あったので増加」に変わることはあるのか。	人手不足、担い手の不足については、喫緊の課題となっており、後継者育成講座などを開催し、課題解消に努めています。こうした人手不足が解消されれば、イベント参加数は増加する可能性は十分にあると考えています。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業			担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価			
		項目	No	事業名		成果指標達成率	方向性	検討内容等	担当課回答	市民意見	市民意見への対応状況	
6-1-1	魅力とにぎわいのある中心市街地の創出	重点	169	連続立体交差推進事業	100.0%	鉄道高架推進課	①妥当である	令和１３年度の完成に向け事業を進捗させてください。		関係機関と連携して事業が進んでいることが分かりました。そのプロセスを市民が気軽にSNSなどで確認できるとよいと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
6-1-2	計画的な土地利用の推進	重点	172	交通拠点整備事業	—	都市計画課	②検討を要する	エリアプラットフォーム構築を踏まえた、目標値の見直しが必要。毎年予算が必要とは限らないようなので、他の事業と統合した方がよいのではないかな。		春日部駅の連立事業、北春日部の区画整理事業などを包括的に捉えたまちづくりの視点の検討ができるとよいと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
										指標欄がグレーアウトされているのはなぜだろうか。開催がなかったという意味か。活動計画通りに事業がなされていないのであれば、その理由の追求と是正は必要に思える。	平成27年度に組織された豊春駅周辺まちづくり検討会が目的としていた、賑わいや活気といった地域振興が達成され、令和４年度に解散したものです。	
										R5、R6ともに一度も開かれていない理由は。	平成27年度に組織された豊春駅周辺まちづくり検討会が目的としていた、賑わいや活気といった地域振興が達成され、令和４年度に解散したものです。	
		重点	173	北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業	40.8%	まちづくり推進課	②検討を要する	指標の設定について、事業に関連する指標に見直した方がよいのではないかな。事業が延期になることにより、市にどのような影響があるのか。事業計画の見直しを踏まえた目標値の見直しが必要である。	指標が市全域についての指標となっているため、個別評価できるよう、指標の見直しを検討します。組合施工であるため、事業が延期になることによる市民への影響は少ないものと考えています。	前回と調査内容が変わったということですが、今回満足割合の低かった項目はどのような点でしょうか。今後に向けて魅力となる点の絞り込みが必要と感じています。	昨今の物価高騰により、北春日部駅周辺地区土地区画整理事業も様々なあおりを受け、事業の進捗に遅れが生じたことが要因と考えます。従来の戸建ての住宅開発ではなく、子育て世代を中心としたあらゆる世代が豊かに暮らせる、そして付加価値を持った“まち”を目指し、土地区画整理組合とともに推進してまいります。	
										事業名と指標内容がリンクしないのでよくわかりません。	北春日部駅周辺地区土地区画整理事業は、組合施行で実施していることから、「市民が主体となったまちづくりの推進」を指標としております。また、市では、「北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業」として、組合とともに事業を推進することのほか、本事業に対し助成金を交付するなど支援をしております。	
										北春日部駅に隣接し、交通の便が良いこの地を開発し、市街化することにより、にぎわいのあるまちを創出することは。春日部の人口増につながり、市も活性化していくと思います。土地区画整理組合と協議し、計画どおり事業が完成することを希望します。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								R5からR6にかけて大幅に満足度が下がっている理由を分析してほしい。	昨今の物価高騰により、土地区画整理事業も様々なあおりを受け、事業の進捗に遅れが生じたことが要因と考えます。			
6-2-1	計画的な土地利用の推進	再検討	177	空家等対策推進事業	88.1%	住宅政策課	②検討を要する	空き家は減っているのか。この事業の成果は。成果を上げるための取組は何か。	「住宅・土地統計調査」では、全国的には空き家数が、２０１３年度から２０２３年度までに約８０万戸増加している状況ですが、本市では、空き家が減少傾向にあります。しかしながら、今後については、少子高齢化の進行により、本市においても空き家は増加に転じるものと認識しています。空家等対策推進事業の事業概要は適切な管理が行われていない空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するもので、この事業の取り組みにより、各種補助金制度が活用され、空き家の流通、利活用に一定の成果があったと認識しています。ホームページをはじめ、対象となる空き家の所有者等に対し、引き続き、直接的に働きかけを行い、空き家の利活用を促進し、市内への定住促進及び地域経済の活性化に資することを図ってまいります。	全体的な取り組みとして成果が得られていることが分かりました。今後に向けて、エリア毎の目標や方策（引き続き住宅としての利用を目指すのか、多用途への転用を進めて行くのかなど）を検討していく必要もあるかと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
										空家の中で、貸し渋りがどれくらいいる割合なのか、そういった状況を把握するだけでも意味があると思う。空家は埋まるに越したことはないが、各所の協力がないと実現しないことなので、調査や状況整理に関する成果指標があってもいいと思う。	評価指標が申請件数でなく、街並みの満足度なのは何故でしょうか。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										今後も空家が増えてくると思うので、更なる施策が必要だと思う。	施策の目的をすべての世代がより良い住環境で安心して暮らせることと定めており、評価の対象を件数では無く、市民の満足度に重点を置いているため。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										景観維持のお願いや利活用の案内を窓口で行うこと。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
										地域ごとに活用の目標を設定すること。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
										空き家として放置してしまう原因を除去・低減するために、空き家の利活用を適切に選択できる仕組みづくりを構築すること。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
										街中の空き家についてのPRや啓発活動を実施すること。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
		重点	178	北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業【再掲】	40.8%	まちづくり推進課	②検討を要する	指標の設定について、事業に関連する指標に見直した方がよいのではないかな。事業が延期になることにより、市にどのような影響があるのか。事業計画の見直しを踏まえた目標値の見直しが必要である。	指標が市全域についての指標となっているため、個別評価できるよう、指標の見直しを検討します。組合施工であるため、事業が延期になることによる市民への影響は少ないものと考えています。	—	—	
		重点	179	赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業	175.0%	まちづくり推進課	②検討を要する	具体的なスケジュールは。目標値の設定について、より客観的な指標の設定を検討すること。	合意書を取得し、県が了承した後にならないと示すことができません。	目標値と実績が合っていない。どのような協議を進めたのか。合意書取得の目的は。	関係機関との協議について、事業化に向けた各種手続きの進め方や市街化区域編入に向けた農林調整を中心に協議しました。合意書の取得状況は、R7年９月末時点で権利者の約６６％、面積で約７５％となります。今後、アクセス道路の合意書取得も含めて、早期事業化に向けて進めているところです。	
6-2-2	魅力とにぎわいのある中心市街地の創出	再検討	181	空家等対策推進事業【再掲】	88.1%	住宅政策課	②検討を要する	空き家は減っているのか。この事業の成果は。成果を上げるための取組は何か。	「住宅・土地統計調査」では、全国的には空き家数が、２０１３年度から２０２３年度までに約８０万戸増加している状況ですが、本市では、空き家が減少傾向にあります。しかしながら、今後については、少子高齢化の進行により、本市においても空き家は増加に転じるものと認識しています。空家等対策推進事業の事業概要は適切な管理が行われていない空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するもので、この事業の取り組みにより、各種補助金制度が活用され、空き家の流通、利活用に一定の成果があったと認識しています。ホームページをはじめ、対象となる空き家の所有者等に対し、引き続き、直接的に働きかけを行い、空き家の利活用を促進し、市内への定住促進及び地域経済の活性化に資することを図ってまいります。	—	—	
7-2-1	安定した財政運営	重点	227	財政事務	235.3%	財政課	①妥当である		—	—		